

令和5年度一般選抜入試後期日程「総合問題A」採点のポイント

【英語の課題文を含まない】

【出題の意図】

アドミッションポリシーに基づき、志願者の能力・志向性・適性を多角的に評価することを目的として出題した。課題文としたのは、多様性について論じた二つの文章である。本学で学ぶために必要な基礎学力が備わっていることを前提として、これらの課題文を読み、的確な読解力や理解力があるか、また、提示された設問にしたがって解答を導く論理的思考力、記述力、表現力が備わっているかを見ることを意図して問いを設定した。

問1

〔解答例〕 省略

〔採点のポイント〕

- ・「教育の機会」という言葉を適切に用いている
- ・筆者の学んだ学科に女子トイレが少ないという事実が、大学教育における男女間の不平等を示しているということを理解している
- ・問いに対する解答として必要十分な情報を、誤字、脱字、文のねじれのない適切な文章で表現できている

問2

〔解答例〕 省略

〔採点のポイント〕

- ・普遍性と多様性について、一方を優先すると、他方が配慮されないという関係にあることを理解している
- ・トイレの例を適切に理解し、解答として提示している
- ・これらを踏まえ、問いに対する解答として必要十分な情報を誤字、脱字、文のねじれのない適切な文章で説明、表現できている

問3

〔解答例〕 省略

〔採点のポイント〕

- ・実力があるにも関わらず、地方出身者であるという理由だけで採用が不利になることはなくなるという「効用」を理解している

- ・そもそも同等な実力を備えるところから地方は不利だという「限界」を理解している
- ・問いに対する解答として必要十分な情報を、誤字，脱字，文のねじれのない適切な文章で表現できている

問4

【解答例】 省略

【採点のポイント】

- ・本文中に示されている次の三つの要素を理解し，指摘している
見落とされやすい視点を洗い出す力／領域の壁やしがらみを取り払う力／当事者自身が持続的にプロジェクトに関わる力
- ・問いに対する解答として必要十分な情報を，誤字，脱字，文のねじれのない適切な文で表現できている

問5

【解答例】 省略

【採点のポイント】

- ・課題文①・②で述べられている内容をまとめたり，語句を引用したりしながら，これらの地域社会の形成に必要とされることについて，自分のことばで考えを説明している
- ・問いに対する解答として必要十分な情報を，誤字，脱字，文のねじれのない適切な文章で表現できている

【英語の課題文を含む】

【出題の意図】

アドミッションポリシーに基づき，志願者の能力・志向性・適性を多角的に評価することを目的として出題した。課題文としたのは，多様性について論じた二つの文章である。本学で学ぶために必要な基礎学力が備わっていることを前提として，これらの課題文を読み，的確な読解力や理解力があるか，また，提示された設問にしたがって解答を導く論理的思考力，記述力，表現力が備わっているかを見ることを意図して問いを設定した。

問1 【英語の課題文を含まない】問1と共通

問2 【英語の課題文を含まない】問2と共通

問3

〔解答例〕 省略

〔採点のポイント〕

- ・本文中に示された2回の実験結果から、アメリカ人と日本人のグループのそれぞれの傾向を正しく理解している
- ・問いに対する解答として必要かつ十分な情報を、誤字、脱字、文のねじれのない適切な文章で表現できている

問4

〔解答例〕

人の世界のとらえ方は根本的に共通しているという考え方 (26字)

〔採点のポイント〕

- ・解答例に示された考え方を本文中から適切に取り出し、指摘している
- ・求められている問いに対する解答として必要かつ十分な情報を、誤字、脱字、文のねじれのない適切な文章で表現できている

問5

〔解答例〕 省略

〔採点のポイント〕

- ・課題文①・②で述べられている内容をまとめたり語句を引用したりしながら、社会課題の解決において多様性が重要である理由を、大学で学ぼうとしていることと結びつけ、自分自身の問題として説明できている
- ・求められている問いに対する解答として必要十分な情報を、誤字、脱字、文のねじれのない適切な文章で表現できている